

(その三)

工場又は事業場の名称	スーパーレジックラフト株式会社 千葉工場
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	2 2	9 1	9 2						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 1	2 2	9 1	9 2					

(その三)

工場又は事業場の名称	旭化成パワーデバイス株式会社 館山事業所
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 4	9 9								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

計画年度の使用量及び排出量が目標年度に対し増加した理由

①2010年度及び2011年度事業所方針として安全を第一に挙げ、従業員の健康と安全を維持する為VOC取扱ブースの排気風量を増加させた。その結果VOC排出量が増加する計画である。

②2011年度に新規採用するシンナーがVOCに該当する為、使用量が増加する計画である。シンナーの使用量に対し排出量は10%未満であると見込んでおり、その結果、削減率は37%となる。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 2	3 1	3 4	9 3						

(その三)

工場又は事業場の名称	ユー・エム・シー・ジャパン株式会社 館山工場
------------	---------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 2	3 9	9 9						

その他(1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

・ウエーハ洗浄装置のIPA排気量を調整し、排出量の削減を行う。
・ウエーハ洗浄装置の洗浄薬液の使用量を削減し、排出量の削減を行う。
・ウエーハコート装置のシンナー使用量を削減し、排出量の削減を行う。
・ウエーハ製造工程に使用する装置台数の適正化への取組みにて、対象薬液の使用量を削減し、排出量の削減を行う。
・生産数及び製造製品の種類の増加が製造工程でのVOC使用量及び排出量を増加させる要因となっている。
・上記対策の実施により、使用量及び排出量の削減を図る。

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 2	3 9							